シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)とは、ゴム・熱可塑性エラストマーに分類される樹脂の材料です。射出成形可能なシリコーン。

LSR ・ Liquid Silicone Rubber

最終更新：2026/10/30

1.1 g/cm³	9 MPa	200 °C
比重（密度）	引張強さ	最高使用温度

TPU・TPU・TPE-Sとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	シリコーンゴム LSR (液状シリコーン) このページ	TPU (熱可塑性ポリウレタン)	TPU (熱可塑性ポリウレタンエーテル系)	TPE-S (SEBS系熱可
引張強さ	9 MPa	50 MPa	45 MPa	15 MPa
硬さ	10-70 Shore A	—	70-95 Shore A	30-90 Shor
線膨張係数	—	150 µm/m·K	—	—
最高使用温度	200 °C	—	80 °C	100 °C
密度	1.1 g/cm³	1.2 g/cm³	1.12 g/cm³	0.91 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 射出成形可能なシリコーン
- 高い再現性・量産性
- 複雑形状対応
- クリーンルーム成形可能

主な用途

- 医療用ダイヤフラム・バルブ

- ベビー用品（哺乳瓶乳首）
- 防水シール
- キーパッド

選び方

シリコーンで量産射出成形したい場合に。医療・ベビー用品向け。

メリット

- 射出成形可
- 量産性
- FDA対応
- クリーン成形

デメリット

- 専用成形機必要
- 金型コスト高

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	200 °C	—
最低使用温度	-50 °C	—

物理的性質

密度	1.1 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合
fda	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の密度（比重）は？

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の密度（比重）は1.1 g/cm³です。

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の引張強さは？

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の引張強さは9 MPaです。

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の最高使用温度は？

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の最高使用温度は200 °Cです。

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の硬さは？

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の硬さは10-70 Shore Aです。

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)の主な用途は？

シリコーンゴム LSR (液状シリコーン)は、医療用ダイヤフラム・バルブ、ベビー用品（哺乳瓶乳首）、防水シールなどに使われます。